

選奨生奨学資金貸付申請書 (一時金)							
ふりがな		● ● ● ●		※ <input checked="" type="checkbox"/> 男 ・ 女		奨学金の貸付希望期間	
氏 名		● ● ● ●		年 月 日生 (満 歳)		年 月から 年 月まで 年 月間	
在学学校 (入学予 定校)	※国立 高等学校 科 学年 ※ 全日制			定時制			
	公立 中等教育学校 科 学年 私立 高等専門学校 科 学年 ●●大学 ●●学部 1 学年 ( 年 月卒業見込)						
所在地		●●県●●市●●町●●番地					
本人	本籍 ●●県●●市●●町●●番地						
	現住所 ※自宅 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 下宿 間借 その他( )電話番号 ( ) ●●県●●市●●町●●番地						
家族	現住所 ※持家 借家 間借 社宅 その他( )電話番号 ( ) ●●県●●市●●町●●番地						
家族の状況 (家計支持者 に○印)	就学者を 除く家族 に○印)	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	年収(税込)
		父	● ● ● ●	歳 ●●	会社員	(株) ●●	円 ●●●万
		母	● ● ● ●	歳 ●●	パート	●● (株)	円 ●●●万
就学者 (別居者 に×印)	続柄	氏名	年齢	在学学校名		学年	通学別 (小・中学生を除く。)
	本人	● ● ● ●	歳 18	●●高校		年 3	※ <input checked="" type="checkbox"/> 自宅・自宅外
	弟	● ● ● ●	歳 15	●●中学校		年 3	※ <input checked="" type="checkbox"/> 自宅・自宅外
世帯の所得	給与所得		※商業・工業・林業所得		農業所得		その他( )の所得
	年収(税込) 円 (賞与諸手当を含む。)		年売上高 円	営業支出 円	年 収 ( 税 込 ) 円 (自家消費分も含む。)		年収(税込) 円 ※ 各種報酬、各種年金、扶助料、利子、 配当、地代、家賃、 その他( )
			円	円	耕 作 面積	田 a 畑 a	
資産	預・貯金		千円・宅地		m2・農地		a
	有価証券		千円・山林		a・家屋		戸 m2

・この欄は記載しないこと。

貸付期間		借用証書提出年月		×	×決定番号
月 日から	月 日まで	年 月	年 月		

奨学資金を希望する理由	<p style="text-align: center; color: red;">【一時金を申請する理由（経済的理由の詳細内容）と何に使うのか（入学金等）を具体的に明記し、希望する額（50万円以内）を必ず書いてください。】</p>	
本人の履歴	●●年 ●●月 ●● 中学校卒	年 月
	●●年 ●●月 ●● 高等学校卒	年 月
	年 月	年 月
<p>上記のとおり、郡上市選奨生として奨学資金の貸付けを受けたく申請します。</p> <p style="text-align: center;">●●年 ●●月 ●●日</p> <p>郡上市長 様</p> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">       ふりがな        本人氏名 印     </div> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">       ふりがな        連帯保証人氏名 印     </div> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">       本籍        現住所        続柄本人の( ) 年 月 日生     </div> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">       ふりがな        連帯保証人氏名 印     </div> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">       本籍        現住所        続柄本人の( ) 年 月 日生     </div>		
<p>備考 1 ※印のところは該当のものを○で囲み、×印のところは記入しないこと。</p> <p>2 就学者とは、学校教育法第1条に規定する学校(幼稚園を除く。)に就学するものをいう。</p> <p>3 家計内容は、家族全員の収入を詳細に記入し、市長による所得額及び税額についての証明書のほか、給与所得者にあつては、源泉徴収票を併せて添付すること。</p> <p>4 奨学金を希望する理由は、家族の状況等を具体的かつ詳細に記入すること。</p> <p>5 連帯保証人は、独立の生計を営む成年者であること。</p> <p>6 申請者が未成年者であるときは、連帯保証人のうち1人は親権者又は後見人とする。</p>		